

次世代にも暮らしやすいまちづくりの実現に向けた 土地利用制度の見直しに関する説明会【意見要旨】

都市計画課

1 説明会開催日程

開催日	会場	開催日	会場
4月27日(月)	城南公民館・第1会議室	5月11日(月)	清里公民館・会議室
4月28日(火)	下川淵公民館・視聴覚室		元総社公民館・第1会議室
4月30日(木)	永明公民館・第2会議室	5月12日(火)	東公民館・第1会議室
5月1日(金)	芳賀公民館・講義室		粕川公民館・第4会議室
5月7日(木)	桂萱公民館・会議室	5月13日(水)	大胡公民館・会議室
	富士見公民館・第2会議室	5月14日(木)	南橋公民館・会議室
5月8日(金)	上川淵公民館上北分館・ホール		総社公民館・第2会議室
	宮城公民館・第2会議室	5月15日(金)	中央公民館・504 学習室

【第一部】14:00～19:00 取り組みに関するパネル展示と職員が個別に説明する「対話型説明会」

【第二部】19:00～20:00 資料やスライドを基に皆さまに説明・意見交換を行う「説明会」

2 説明会参加者数 233人

3 意見要旨

最終とりまとめに関する ご意見	・説明を聞いて取り組みが必要なことだと感じた。既存集落の地域コミュニティの維持について考えていくことが必要。 ・将来世代に過度な負担がかからないようなまちづくりに期待する。 ・前橋市単独ではなく、周辺自治体を含めた広域的な視点で土地利用や開発を進めてほしい。 ・この取り組みを実現していくためには都市計画だけでなく農業やインフラなど様々な分野と連携して取り組むことが必要。 ・人口が減少して郷土芸能の担い手がないなど問題が出ている。まとも外となる既存集落もしっかり守ってほしい。 ・建築費が高騰しており、土地にお金をかけられない人が多い中で、この施策をやって本当に大丈夫か。市街化区域の土地を購入できない人が、市外に流出することが想定される。 ・国道50号沿道の開発を進めてほしい。 ・50戸連たん制度(都市計画法 34 条11号区域)は守ってほしい。
--------------------	---

農地・農業に関するご意見	・農地をつぶして開発が進行している。用水路への生活排水の混入などの問題がでている。農地、自然環境の保全や農業振興施策をもっと充実させる必要がある。 ・土地(農地)を手放したいが、売れなくて困る人が多くいると思う。 ・耕作放棄地の対策はどのような考えなのか。農業を行う人間も減っていくので対策を考えてほしい。 ・子供や孫世代も農業を継がず、開発もできない土地となると遊休地ばかりになる。農家の目線に立って考えて欲しい。
市の施策に関するご意見・ご提案	・市街化区域の空家対策を強化していかないといけない。 ・住宅地や商業地をこれ以上抑制していくことは賛成であるが、農地は担い手が減ってくるので工業団地の開発や企業誘致をもっと進めるべき。 ・働く場所と学校がないと人が集まらない。特に企業誘致に力を入れた方が良い。 ・人口が減っている。そのため公共施設を再編していくことも必要だと思う。この土地利用の見直しとあわせて考えていくのが良いと思う。 ・県庁所在地なのにまちなかが寂しいから郊外開発が進行するのではないか。魅力向上にもっと取り組むべきである。 ・拠点を間をスムーズに移動できる交通システムの構築や、拠点を結ぶバス路線の維持・拡充等をセットで進めていただきたい。 ・上電沿線に誘導していくのは良いこと。バス路線も充実してほしい。
その他	・こういった説明会には年配者しか来ないので、若い世代を対象に意見を聞く場を設けたほうが良い。 ・将来世代のことを思うと非常に大事で必要な取り組みだと思う。これからのまちづくりは若い人の意見を取り入れたほうが良い。 ・(高校生の意見)将来増えてくる高齢者を私たちが支えていかなければならない。と学校で先生と話をしたことがある。今日の説明を聞いて、改めてこういうことなんだと実感した。他人事ではないので私たちも考えていかなければならない。今日の話を先生や友達としてみようと思う。